

金管楽器が奏でる

アニメソング

かふかSound Gift 2007

12月15日(土)、かふか生涯学習館で、かふかSound Gift 2007が開催されました。

このイベントは、2つのトランペット、ホルン、トロンボーン、チューバの金管五重奏とドラムで構成されるプロの奏者によるコンサートで、「となりのトトロ」「ちびまる子ちゃん」など私たちがよく知っている歌が演奏されました。

お馴染みのアニメソングやポップスがまったく違った楽器、アレンジで演奏されると、新たな魅力が出てきます。場内には歌詞のテロップも映し出され、迫力ありそして優雅な演奏の中、来場の皆さんは大合唱でした。

また、楽器の演奏体験のコーナーもあり、ちびっ子ドラマーが叩くドラムに合わせて「世界に一つだけの花」の演奏がばっちり決まると、大きな拍手が沸き起こりました。



▲抜群のリズム感、ちびっ子ドラマー

自動車整備技術をケニアで

青年海外協力隊・奥島誠さん

奥島誠さん(甲賀町)が、アフリカケニア共和国へ青年海外協力隊として赴任します。

奥島さんは、自動車の2級整備士の資格を生かし、ケニアの自動車整備の訓練学校の指導者として活動されます。

12月18日(火)、出発に先立ち、市役所を訪れ、中嶋市長へ「人の役に立ちたい」と思っている選んだ仕事、国際協力力の世界の一員として頑張りたい。」と報告がありました。中嶋市長からは「この仕事をして良かったと思えるよう頑張ってください。誇らしい日本の仕事を見せてほしい。」激励の言葉がありました。

1月から2年間にわたり現地で活動される奥島さん、ケニアの自動車産業へ貢献され、また、自分自身もたくましくなって帰ってこられることでしょう。



▲中嶋市長に決意を述べる奥島さん

わらでつながる心と心

世代を超えたわら細工体験・12月15日貴生川公民館

寄稿◎17・18年度まちかど特派員 杉山 祐子

きちんと揃えられたわら束とバケツに入った水。子どもからの「この水、何に使うの?」との質問に「神様のものを作るからきれいな水を使うんや。」とやさしく答えてくださったのは奥野勇さん。今回のしめ縄名人の一人です。

この日集まった受講生は子どもから大人まで約60人。「世代を超えた交流を目的とした事業です。コミュニケーションを大切にしながら楽しんでください。」という公民館長の言葉に、老人クラブの名人たちを囲んで、まずはしめ縄作りから始まりました。わらをすぐる。(ハカマをとって揃える)、木づちでかつ。(たいて柔らかくする)、縄をなう。(わらをより合わせて1本にする)

世界の文化が集結

国際交流フェスタ2007



▲甲賀の文化を体験(甲南太鼓)

12月9日(日)、忍の里プララで国際交流フェスタ2007が開催されました。

このイベントは、世界の文化に触れ、気軽に国際交流、国際理解を深める場として毎年開催されています。

ステージでは、和太鼓やバンド演奏の他、姉妹都市交流事業に参加した市内の中学生の方などによる国際交流フォーラムが行われ、国際交流の大切さや魅力について熱心なディスカッションが行われました。

会場内に設けられたブースでは、世界各国の文化や関係団体の活動の紹介のほか、各国の食べ物が販売され、世界の食を手軽に味わえるとあって大盛況でした。

多くの国の文化が集まったこの日、より世界を身近に感じる事ができました。

うどんを通じて日韓交流

利川市交流で体験

12月18日(火)、勤労青少年ホームで市内の中学生と、利川市の中学生が手打ちうどんづくりにチャレンジしました。これは、姉妹都市提携を結んでいる利川市との交流事業のなかでおこなわれたもので、日韓の中学生が一緒に小麦粉をこねるところから、伸ばした生地を切って麺にするまでの全ての作業を行いました。慣れない作業に悪戦苦闘ながらも、粉まみれのなか笑い声が絶えない楽しい作業となりました。今回の交流事業は利川市の中学生が12月15日(土)から19日(水)まで市内の中学生宅にホームステイされたものです。これ以外にも手裏剣投げや交流ドッジボール大会など多くの交流が行われました。



大切なパートナー、私たちも交流

～盲導犬ユーザーとの交流会～

盲導犬は、目の不自由な方を支える大切なパートナーとして、家族として全国で活躍しています。国内初の盲導犬「チャンピオン」が県内で活動を始めて50年がたちました。

12月6日(木)から17日(月)まで、甲南図書交流館で国産盲導犬誕生50周年記念写真展が開催されました。会場では、チャンピオンやこれまで県内で活躍した盲導犬の活動の写真が展示され、人と犬の言葉を越えた心の通い合いが紹介されました。

また15日(土)には、盲導犬ユーザーとの交流会が開催され、盲導犬とふれあうコーナーや、ユーザーの方の盲導犬との生活のお話などがありました。

実際の交流を通して盲導犬の活躍を知ることができた貴重な機会となりました。



▲盲導犬ユマとのふれあい



▲両足も駆使して